

【編集後記】経済倶楽部の中国問題講師には共通点があります。みな中国は好きなのに、中国が直面する諸問題にはまことに手厳しい。高原明生さんも同様ですが、尖閣をめぐる主張には説得力があります。父上は伊藤忠でエネルギー本部長などとして活躍された友生さん。そろそろ単著が待たれます。

知事から閣僚という政治体験は極めて貴重ですが、増田寛也さんは政治家に戻らず審議会などの委員で大活躍しています。「選挙はもうこりこり」だそうですが、いずれ政界でもまた活躍してほしいもの。180センチを超える巨躯で趣味もサイクリング、スキー、乗馬など体育会系がそろっています。小坂文乃さんの上品な名刺には、孫文と梅屋庄吉研究センター

顧問、中国宋慶齡基金会理事、桜美林大学北東アジア研究所客員研究員、上海同済大学亞洲太平洋研究センター顧問研究員など（まだありますが）多くの肩書が並んでいます。日中友好の架け橋としての活躍はまだまだこれからでしょう。

新聞社、シンクタンク、大学と
いろいろな職場で仕事をしてきた
福島清彦さんですが、大学で若
者を指導するのがいちばん性に
合っていたのかもしれない。
ライフワークの欧州には今でも
しばしば出かけていますが、現
地の集まりに日本人が少なくな
っているのがご不満のようです。
次号は福山隆氏（朝鮮半島の
地政学と金正恩体制の行方）、浪
川攻氏（安定期遠い内外金融セ
クター）、森田実氏（総選挙後の
政局を見通す）です。（A*T）

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2013年1月号)

2013(平成25)年1月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 山縣裕一郎 編集人 浅野純次

発行 東洋経済新報社
編集 社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉